



啐 啄 同 時

平成 28 年 7 月

校長室だより

学校教育目標 副題「大好き自分 大好きみんな 大好き芦田」

芦田小最後の1学期もいよいよ終わり夏休みとなりました。地域の皆様には、芦田っ子のためにいろいろとご支援を頂きありがとうございました。土日を含めると42日間、家庭、地域にお返しすることになります。子どもたちにとって「思い出に残る夏休み」になりますよう宜しくお願いいたします。

「私の夏の思い出」……こんなことも思い出に

毎年、この七月号には「私の夏の思い出」を書いています。それは、50年たってもこんな思い出が残っていることを子どもや保護者の皆さんに伝え、心に残るような夏休みを過ごしてほしいからです。

私が小学校低学年の時のことです。山南町の親戚の従妹2人と私とで篠山の「デカンショ祭」に連れて行ってもらいました。篠山の親戚で食事を終え、いよいよ町の中を歩くことになりました。従妹2人はお父さん、お母さんと手を繋ぐことに決めたのですが、私はだれに手を繋いでもらえるのか不安に思っていました。

すると、ある叔母さんが「この子は、私が手を繋いであげるわ」と言ってくれた時、本当に嬉しくなりました。そして、その叔母さんは、『この子が迷子にならないように』としっかり手を繋いでくれたので、その「温かさ」が手から伝わってくるのを感じました。たったこれだけのことなのですが、今も「この温もり」が忘れられないのです。

思い出に残る夏休み……。何も遠くへ出かけたりしなくても、心の琴線にふれる思い出はできるものだと思います。

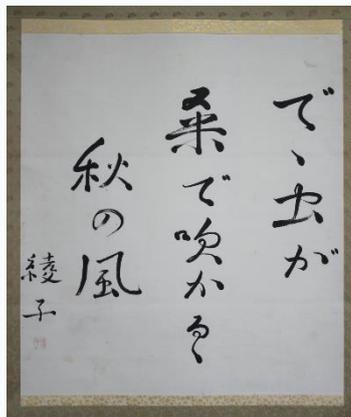


俳人「細見綾子」……さらにこんなことが分かりました。

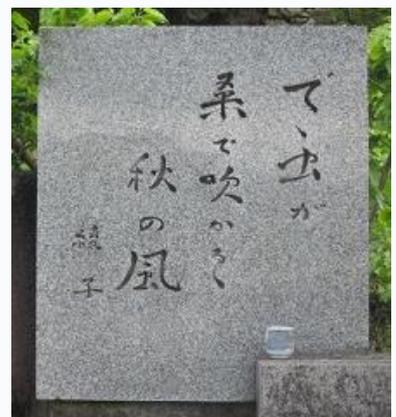
6/3 閉校記念行事「芦田小ヒストリア」の実施後、新聞をご覧になった方から、新たな情報を頂きましたので、紹介します。

その1

7/6に、篠山市の中野卓郎校長先生が来校され、昭和60年11月、俳人細見綾子の句碑(高座神社)の除幕式のことを聞かせて頂きました。小学校からは6年生が参加し、細見綾子作詞の校歌を歌ったそうです。綾子さんはとても感激し、学校まで足を運ばれたそうです。その時、校長先生が「何か記念に、一筆書いてほしい」とお願いされたそうです。「わかりました」と快く承諾して頂き、後日、送られてきたのが写真のものです。これを校長



【掛け軸】



【句碑】

先生が「掛け軸に仕立て直したのです」と言われました。

先日、高座神社の句碑を見てみると、なんと、この掛け軸が句碑の原本かと思うくらい筆跡が似ていました。

その2

俳人細見綾子は、本校だけでなく他にも校歌の作詞をしていることが分かりました。それは、石川県立金沢女子高等学校で、昭和41年の設立に際して作詞をしています。

芦田小校歌の作詞が昭和40年秋ですから、そのすぐ後になります。金沢とのゆかりは、夫沢木欣一の母校旧制第四高等学校が金沢にあり、また、そこに住んでいたこともあるようです。その歌詞は、下記のものです。

金沢女子高等学校校歌

一 加賀平野豊かに広く
医王山雪をかづけり
伏見川桜にほいて
ここ新しき学び舎の
誓いも堅き礎や
あふる希望の窓辺清し
二 日本海北に澄むごと
伝統の根ざしは深し
耕して新しき汲む
学問をして賢ならむ
情養ひて温ならむ
理想の女性像築きゆかむ
三 師の教えきびしく
友集ひ明るく楽し
美しき春秋三歳
世に巣立ちゆきかへりみむ
学び舎こそは抛り処なる
我等が金沢女子高校

さすがに、高等学校なので歌詞が難しいです。でも、自然の様子を取り入れているところは、俳人としての感性が光るところです。

この女子高校は、平成7年に男女共学校となるため、校名を「石川県立金沢伏見高等学校」に改めました。これをもって、細見綾子作詞の校歌が一つなくなったのです。しかし、驚いたことに、「石川県立金沢伏見高等学校」の校歌の作詞は、なんと「沢木欣一」となっていました。「梅 かおる 北の都……」随分優しい歌詞となっていました。この学校に電話して「保留」にされると、校歌が流れてきます。

7月 芦田っ子の「きらり俳句コーナー」

あさがおの	つるがまきつき	こしょばいな	1年	中山	しゅうご
はさまれた	クワガタおこって	はんげきだ	1年	鴻谷	らいそう
かたつむり	あじさいのじめん	うれしそう	2年	柳	れいあ
かたつむり	つかれてそうに	ゆっくりだ	2年	蘆田	ひな
せみがなき	夏のしらせを	ありがとう	3年	植村	しん
プールでね	ロケットになる	ピヨーンとね	3年	蘆田	みき

りゅうの巣が	上へ上へと	雲の峰	4年	芦田	なの
ゲーム中	ゴロガウ雷	電波切れ	4年	蘆田	ゆうへい
行列だ	アリがならぶ	レストラン	5年	芦田	そら
クーラーが	お休み中で	早よ起きた	5年	鴻谷	とらひこ
扇風機	首をふっても	役立たず	5年	横山	ふうか
シャリシャリと	口でとろける	かき氷	6年	岩崎	いつき
大花火	咲いてすぐ散る	夏の花	6年	芦田	りの

